

平成24年度 総務部 経営計画書

部署名	総務部
役職・氏名	部長 福池 敏和

総務部 経営方針

● 部の使命
 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、高度化・多様化する住民ニーズにこたえられる人材を育成し、市民と協働による「安全・安心」なまちづくりを進めるとともに、公正で開かれた市政運営に努めます。



● 部の基本方針
 ① 透明で開かれた市役所があるまちを目指して、個別外部監査を行い政策に反映します。
 ② 市民ニーズにこたえる市役所があるまちを目指して、業務改善、職場環境改善に取り組みます。
 ③ 便利な情報ネットワークがあるまちを目指して、電子入札・契約管理システムを導入します。
 ④ 防災意識の高いまちをめざして、防災計画の改訂を行うとともに自主防災組織の育成、防災教育の普及に努めます。

●平成24年度 部のスローガン ともに豊かで安全・安心な未来へ

部署内経営資源				当初予算 (うち人件費)	一般会計 (754,890 千円 377,680)千円
構成人員	正職員	臨時職員等	計		
	30人	9人	39人		

総務部 重点事項				
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 業務改善・職場環境改善	平成20年4月に策定した、現行の「瀬戸内市人材育成基本方針」を改訂し、新たに“安心して健康に働ける環境づくり”の項目を設けた「瀬戸内市人材育成ビジョン」を策定します。	平成24年度末までに、「瀬戸内市人材育成ビジョン」を策定し、職員へ周知します。	策定作業中	策定済
2 人事制度改革	平成25年度の本格導入(勤労手当への反映)を目指して、人事評価制度の構築を行うとともに、希望昇任・降任制度の拡充を行い、公正な人事管理と職員の資質向上を図ります。	本格導入を前提としたシステムによる人事評価の試行を行うとともに、部長級、課長級、課長補佐を対象とした希望昇任試験を実施します。	部長級、課長補佐級希望昇任募集を実施済。システムによる評価は、1月～2月実施予定	部長級、課長補佐級希望昇任募集を実施。システムによる評価についても導入しました。
3 入札制度の見直し	電子入札・契約管理システムを導入することにより、業務の効率化、確実性の向上を図ります。また、一般競争入札を導入し、入札の適正化を図ります。	6月から電子入札を導入し、契約管理システムを導入(7月入札分から運用)します。また、年度内に一般競争入札を実施します。	電子入札、契約管理システムは導入済。年内に2件一般競争入札を実施済。	電子入札、契約管理システムを導入し、平成24年内に2件の一般競争入札を実施しました。
4 光熱水費の削減	市役所本庁舎の電気の使用方法等を見直し、光熱水費の削減を図ることにより、省エネルギー、環境改善に寄与します。	電気使用量可視化モニターを設置し、電気使用状況を周知します。より適切な削減対策を実施し、電気量3%削減を目指します。また、電気料金の削減に向けて特定規模電気事業者(PPS)からの購入を検討します。	電気モニター設置し使用状況を分析、随時対応中。11月末現在で前年度比電気量約2.6%削減。電気料については、特定規模電気事業者(PPS)からの購入は保留。	電気モニターを設置し、使用状況を分析し、デマンド値が上がらないように対応しました。前年度比の電気量を約3.5%削減しました。PPSからの購入は検討後見送りました。
5 防災意識の高揚	国・県の防災計画の改訂に伴い、市地域防災計画を見直し、改訂する。自主防災組織の育成、結成を支援するとともに、地域の子供達に防災教育を行います。	新たな地震、津波の想定により、市地域防災計画を年度内目途に改訂します。6月から牛窓地域、玉津地区等での自主防災組織の育成研修を開催し自主防災組織の育成を図ります。また、夏休みには小・中学生を対象に防災研修会を開催します。自主防災組織結成目標率65%。	国・県の遅延により、市防災計画の全面改訂は次年度へ繰り延べ。自主防災組織の育成、結成支援や小学生の防災教育研修は実施中。	H23まで国の防災基本計画を反映した地域防災計画については防災会議を開催し、策定済み。自主防災組織育成支援事業は6地域、小学校の防災研修会は牛窓北小学校で実施済み。